

第3章

学習に関する意識調査

I 小学校における学習に関する意識調査について

1 調査の概要

本意識調査は、次の5点の事項について第5学年の児童に質問した。

(1) 各教科の内容の理解の程度について

(2) 各教科の内容が分かる要因について

上記(1)で、「授業がよくわかる」、または「どちらかといえば分かる」と回答した児童を対象に質問した。

■学習方法 ■教員の姿勢 ■学習者の姿勢 ■その他

(3) 算数の学習について、学校以外での学習について

(4) 理科に関する意識について

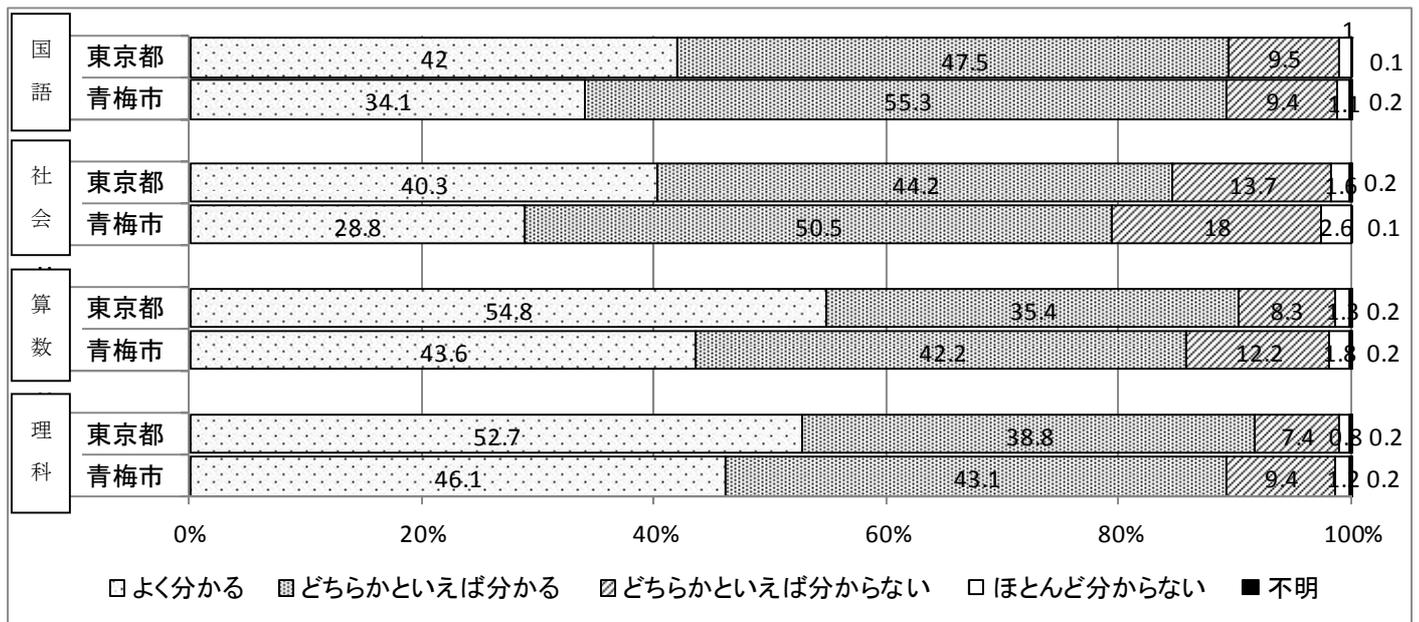
(5) 生活や行動について

なお、本調査は、数値を四捨五入していることから、合計が100%にならないことがある。

2 調査結果の概要

(2) 各教科の内容の理解の程度について

授業の内容はどのくらい分かりますか。



授業内容の理解度と 正答率との関係	平均正答率 (%) ()内は東京都の数値			
	国語	社会	算数	理科
よく分かる	63.7(71.0)	59.8(66.0)	66.5(71.1)	67.1(71.7)
どちらかといえば分かる	52.2(58.6)	49.2(53.4)	53.2(57.9)	59.9(64.0)
どちらかといえば分からない	40.5(46.9)	39.6(43.6)	40.9(44.8)	51.5(56.3)
ほとんど分からない	27.7(34.5)	27.3(34.1)	23.8(32.3)	45.3(48.6)

平成27年度の第5学年において、授業の内容が「よく分かる」「どちらかといえば分かる」と回答した児童の割合は、国語が89.4%(89.5%)、社会が79.3%(84.5%)、算数が85.8%(90.2%)、理科が89.2%(91.5%)である。※()内は東京都の数値

東京都と比較してみると、授業が「よく分かる」「どちらかといえば分かる」と回答した児童の割合は、国語が0.1ポイント、社会が5.3ポイント、算数が4.4ポイント、理科が2.3ポイント低くなっている。

(2) 授業の内容が分かる要因について

次の表は、授業の内容が分かる要因について、児童が教科等ごとに回答した割合が10%以上のもの（青梅市）を示したものである。（数字は回答率、複数回答）

	質問内容	東京都	青梅市
国語	出された宿題をきちんとやっているから	46.8%	50.7%
	読書が好きだから	44.4%	37.5%
	国語の授業での先生の教え方がていねいだから	43.4%	47.7%
	お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから	43.1%	45.1%
	塾や家庭で教えてもらっているから	37.0%	29.1%
	自分で考え、考えたことを発表する授業が多いから	35.8%	37.2%
	分からないときには自分で調べるから	19.2%	21.0%
	分からないときには学校の先生に聞くから	18.4%	22.6%
	授業中にくり返し学習する時間があるから	15.7%	16.3%
	自分で課題を選んで学習する授業があるから	13.6%	12.5%

	質問内容	東京都	青梅市
社会	世の中のできごとを知ることが好きだから	42.5%	44.5%
	社会の授業での先生の教え方がていねいだから	42.3%	46.8%
	お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから	37.8%	40.5%
	出された宿題をきちんとやっているから	34.3%	35.7%
	自分で考え、考えたことを発表する授業が多いから	34.2%	39.2%
	塾や家庭で教えてもらっているから	29.2%	23.0%
	実際に体験したり、専門家の人の話を聞いたりする授業があるから	25.7%	19.6%
	分からないときには自分で調べるから	22.5%	25.5%
	授業中にくり返し学習する時間があるから	17.3%	19.6%
	分からないときには学校の先生に聞くから	16.7%	22.5%

	質問内容	東京都	青梅市
算数	コースに別れた少人数の学習があるから	65.7%	55.3%
	算数の問題にはいろいろな解き方があるから	58.7%	61.6%
	出された宿題をきちんとやっているから	45.8%	46.3%
	算数の授業での先生の教え方がていねいだから	45.6%	46.6%
	自分で考え、考えたことを発表する授業が多いから	42.9%	42.0%
	塾や家庭で教えてもらっているから	41.3%	35.1%
	お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから	37.6%	38.2%
	ものを使ったり、実際に体験したりする授業が多いから	31.6%	35.2%
	授業中にくり返し学習する時間があるから	25.7%	25.8%
	分からないときには学校の先生に聞くから	23.0%	24.8%
	分からないときには自分で調べるから	17.2%	18.9%

	質問内容	東京都	青梅市
理科	観察したり、実験したりする授業が多いから	72.3%	69.2%
	自分で予想し、それを確かめる授業が多いから	62.6%	60.9%
	理科の授業での先生の教え方がていねいだから	41.1%	44.9%
	観察や実験をした後に、じっくりと考える授業が多いから	39.4%	41.0%
	お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから	36.0%	33.5%
	自分で考え、考えたことを発表する授業が多いから	34.4%	33.4%
	出された宿題をきちんとやっているから	32.5%	32.5%
	塾や家庭で教えてもらっているから	28.6%	20.0%
	分からないときには自分で調べるから	18.9%	19.5%
	分からないときには学校の先生に聞くから	16.8%	19.4%
授業中にくり返し学習する時間があるから	16.4%	18.3%	

いずれの教科等においても授業が分かる要因として比較的多く選ばれているものは、例えば次のとおりである。

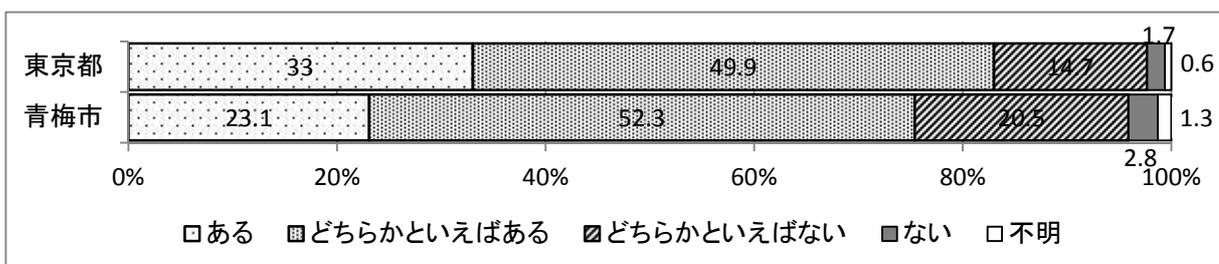
- 学習方法等に関するもの 「自分で調べたり、考えたり、体験したり、観察・実験したりする授業」
「お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業」
「自分で考え、考えたことを発表する授業」
- 児童の学習姿勢に関するもの 「宿題をきちんとやる」
「分からないときには、先生に聞いたり自分で調べたりする」
- 教師の姿勢に関するもの 「先生の教え方がていねい」

また、教科等ごとに見ると、次のような教科等の特性に関するものが要因として多く選ばれている。※()内は東京都の数値

- ◆国語 「読書が好きだから」 37.5%(44.4%) <東京都より-6.9ポイント>
- ◆社会 「世の中のできごとを知ることが好きだから」 44.5%(42.5%) <東京都より+2.0ポイント>
- ◆算数 「コースに別れた少人数の学習があるから」 55.3%(65.7%)<東京都より-10.4ポイント>
「算数の問題にはいろいろな解き方があるから」 61.6%(58.7%) <東京都より+2.9ポイント>
- ◆理科 「観察したり、実験したりする授業が多いから」 69.2%(72.3%) <東京都より-3.1ポイント>

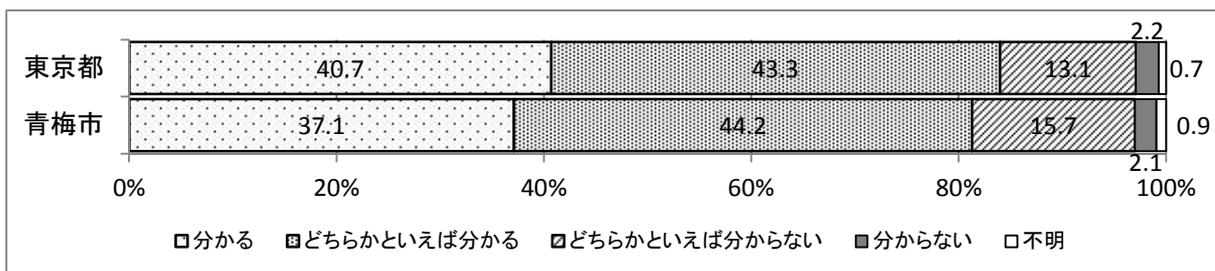
(3) 算数の学習について

① 前の学年までの算数の学習内容を理解している自信がありますか。



「前の学年までの算数の学習内容を理解している自信がありますか。」という質問に対して、「ある」「どちらかといえばある」と回答した児童の割合は、75.4%(82.9%)で、東京都より7.5ポイント下回っている。※()内は東京都の数値

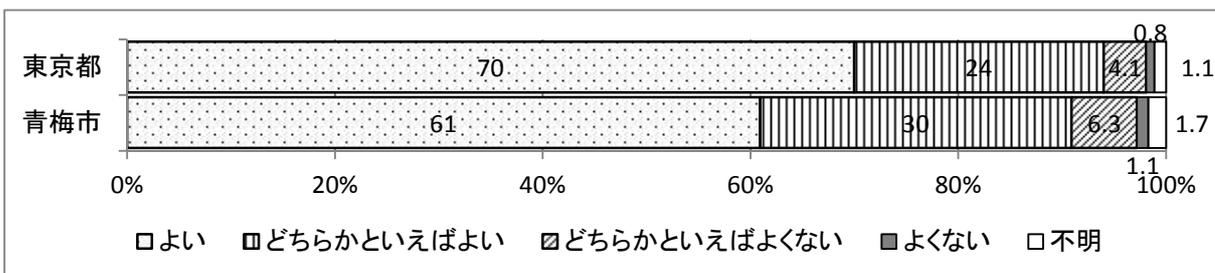
② その日に受けた算数の授業の内容について、家に帰って何を学習すればよいか分かっていますか。



その日に受けた算数の授業について、家に帰って何を学習すればよいか分かっている」と回答した児童ほど、「どちらかといえば分からない」「分からない」と回答した児童よりも平均正答率が高い。児童に対して、家庭で何を学習すればよいかを具体的に指示することが、正答率の向上につながるものと考えられる。

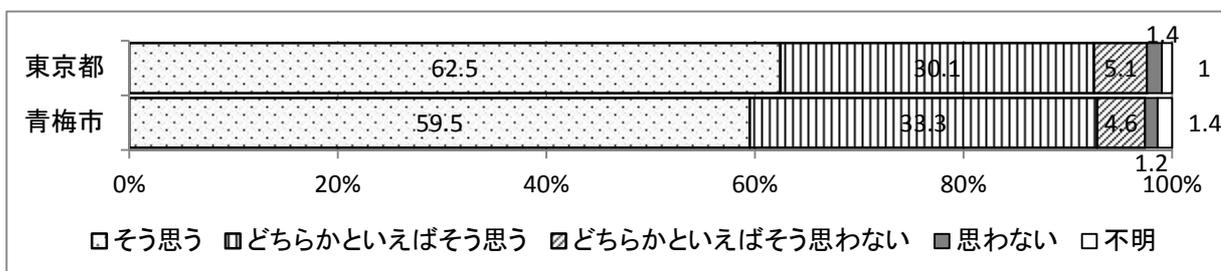
青梅市においては、「分かる」「どちらかといえば分かる」と回答した児童の割合は81.3% (84%) である。※()内は東京都の数値

③ 算数において、自分の学力に応じたコースに分かれた授業を受けることについて、どのように思いますか。



算数において、自分の学力に応じたコースに分かれた授業を受けることについてどのように思うかという質問に対して、「よい」「どちらかといえばよい」と回答した児童の割合は、91%(94%)である。このことから、児童は習熟の程度に応じた授業を受けることについて概ね肯定的に捉えているものと考えられる。 ※()内は東京都の数値

④ 算数において、自分の学力に応じたコースに分かれた授業を受けることで、学力がつくようになると思いますか。

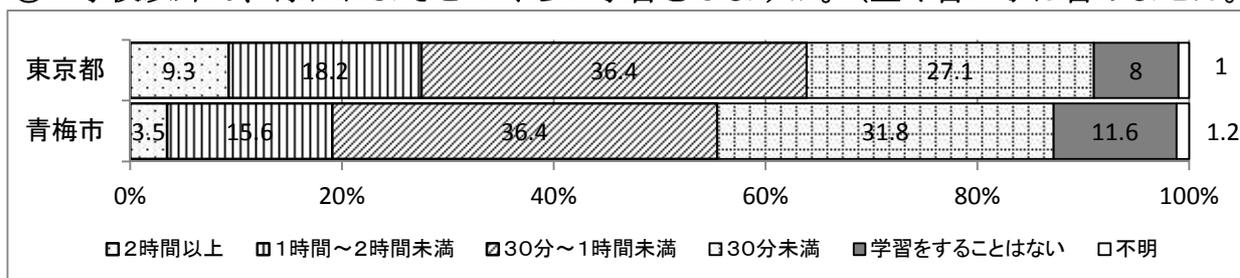


算数において、自分の学力に応じたコースに分かれた授業を受けることで、学力がつくようになると思うかという質問に対して「そう思う。」「どちらかといえばそう思う。」と回答した児童の割合は、92.8%(92.6%)で、東京都より0.2ポイント上回っている。

多くの児童が、習熟の程度に応じた授業を受けることで学力がつくようになると思っていると捉えられている。 ※()内は東京都の数値

(4) 学校以外での学習について

① 学校以外で、毎日およそどのくらい学習をしますか。(塾や習い事は含めません。)

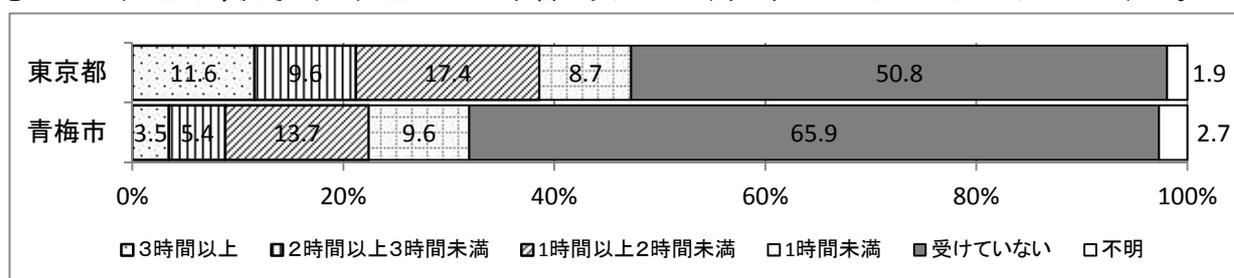


学習時間と平均正答率との関係	平均正答率 (%) ()内は東京都の数値			
	国語	社会	算数	理科
2時間以上	61.8(73.4)	56.7(67.9)	66.9(78.1)	68.7(75.7)
1時間～2時間未満	59.6(68.8)	57.4(64.0)	64.7(72.1)	69.1(72.4)
30分～1時間未満	57.5(63.8)	53.1(58.0)	60.1(64.6)	65.0(68.7)
30分未満	52.2(56.8)	46.5(50.8)	54.8(56.9)	59.6(62.9)
学習をすることはなく	45.9(50.9)	39.4(45.1)	42.1(49.8)	51.6(57.7)

学校以外で、毎日およそどのくらいの学習をするかという質問に対して、「学習をしている」と回答した児童の割合は87.3% (91%) で東京都より3.7ポイント下回っている。

平均正答率との関連で見ると、国語と算数においては、1日に「2時間以上」学習する児童の平均正答率が最も高くなっている。社会と理科においては、1日に「1～2時間未満」学習をする児童の平均正答率が最も高くなっている。 ※()内は東京都の数値

② 塾の先生や家庭教師の先生による学習を受ける時間は、1日当たりどのくらいですか。



通塾時間と平均正答率との関係	平均正答率 (%) ()内は東京都の数値			
	国語	社会	算数	理科
3時間以上	57.2(75.8)	52.8(67.9)	61.7(78.1)	63.6(75.4)
2時間～3時間未満	58.6(70.9)	52.0(64.0)	61.2(72.1)	64.7(72.4)
1時間～2時間未満	56.4(61.9)	51.8(58.0)	61.3(64.6)	63.7(68.7)
1時間未満	46.3(54.3)	41.4(50.8)	49.8(56.9)	57.0(62.9)
受けていない	55.6(60.0)	51.0(45.1)	57.3(49.8)	62.9(57.7)

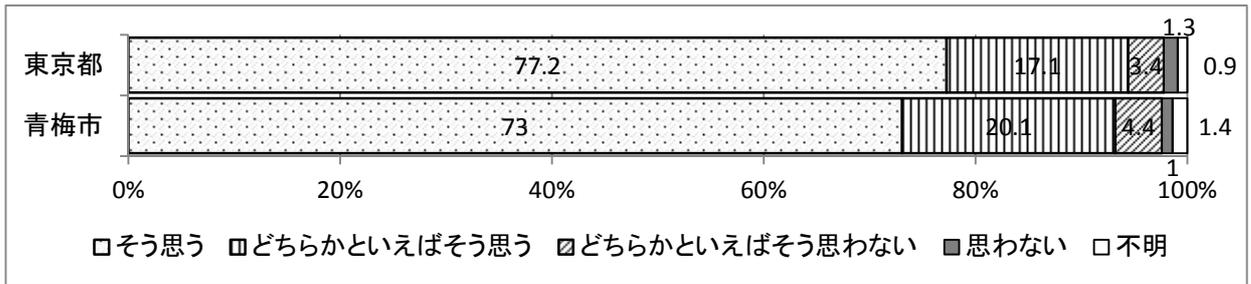
塾の先生や家庭教師の先生による学習を、1日当たりどのくらい受けているかという質問に対して、「学習を受けている」と回答した児童の割合は32.2% (47.3%) である。

※()内は東京都の数値

平均正答率との関連で見ると、塾等の学習をしていない児童の平均正答率を上回るのは1日当たりの通塾等の時間が1時間を超える場合である。

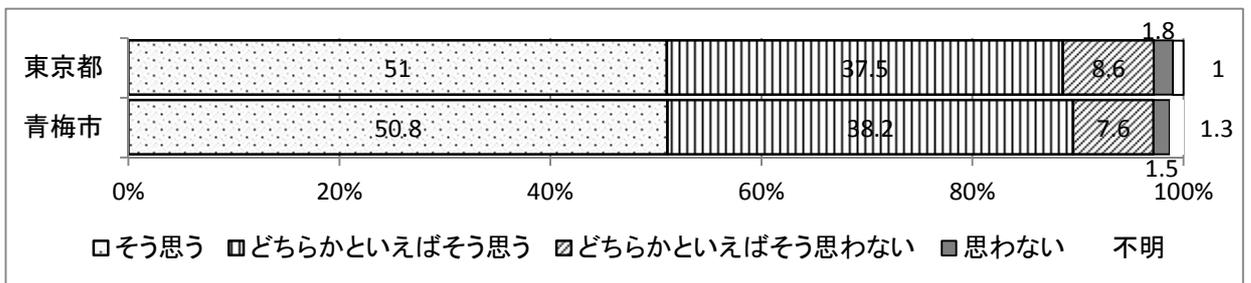
(5) 理科に関する意識について

① 理科の授業で、もっと観察・実験をしたいと思いませんか。



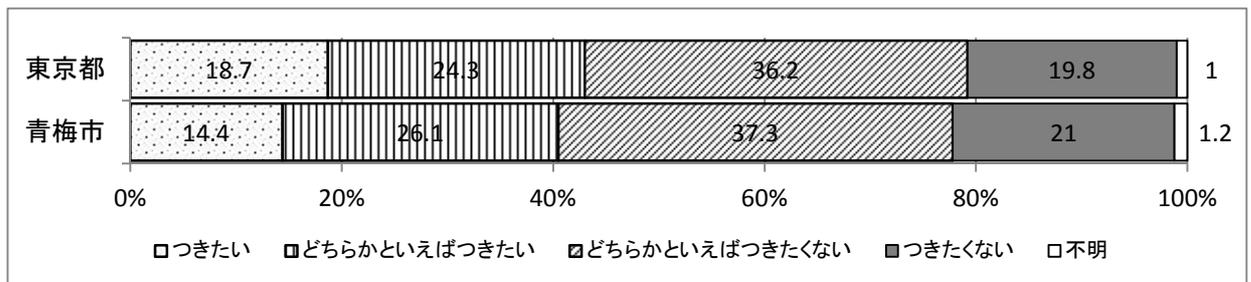
理科の授業で、もっと観察・実験をしたいと思うかという質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合は、93.1% (94.3%) であり、東京都より 1.2 ポイント下回っている。 ※()内は東京都の数値

② 理科の授業で学習したことは、ふだんの生活で役立つと思いませんか。



理科の授業で学習したことは、普段の生活で役立つと思うかという質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合は、89%(88.5%)で、東京都より 0.5 ポイント上回っている。 ※()内は東京都の数値

③ 将来、「理科や算数、科学技術に関する仕事」につきたいと思いませんか。



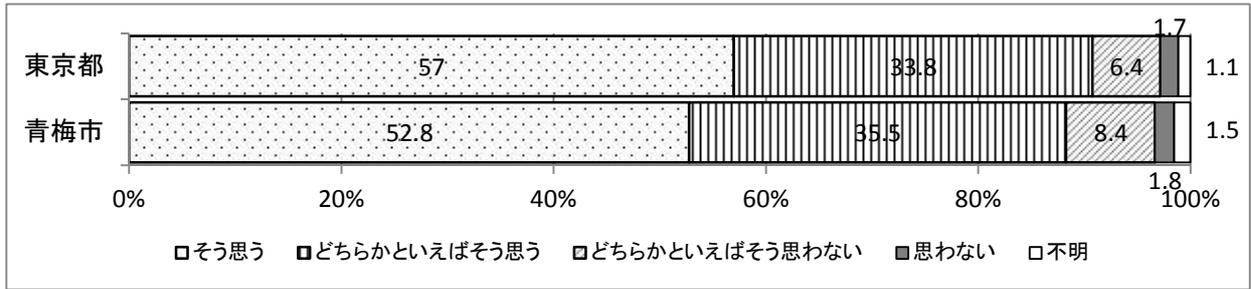
将来、「理科や算数、科学技術に関する仕事」につきたいかと思うという質問に対して、「つきたい」「どちらかといえばつきたい」と回答した児童の割合は、40.5%(43%)である。 ※()内は東京都の数値

理科や算数、科学技術に関する仕事への意識と平均正答率	平均正答率 (%) ()内は東京都の数値			
	国語	社会	算数	理科
つきたい	58.1(66.2)	52.3(60.6)	61.7(69.2)	65.7(70.5)
どちらかといえばつきたい	54.1(63.0)	51.1(57.8)	59.0(65.3)	64.6(68.5)
どちらかといえばつきたくない	55.3(62.1)	50.2(56.6)	56.5(62.9)	61.3(67.3)
つきたくない	53.4(59.8)	47.6(53.2)	53.6(59.1)	59.3(63.7)

平均正答率との関連で見ると、「つきたい」「どちらかといえばつきたい」と回答した児童の平均正答率は、「どちらかといえばつきたい」「つきたくない」と回答した児童の平均正答率よりも高くなっている。

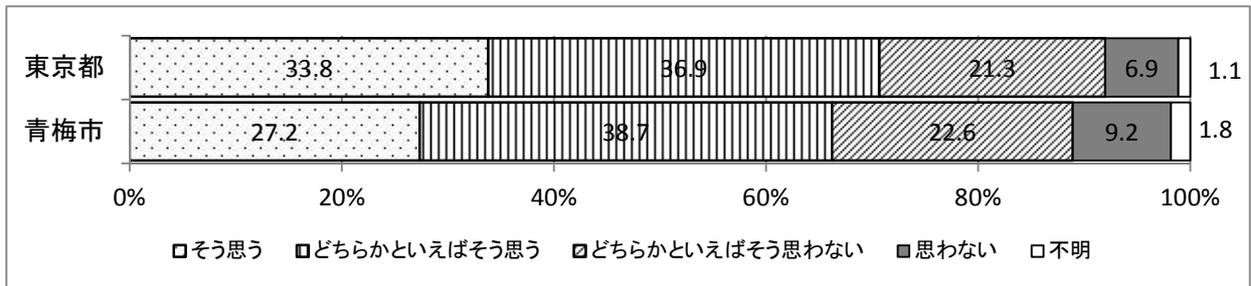
(6) 生活や行動等について

① 自分の住む地域や社会をよくしたいと思いますか。



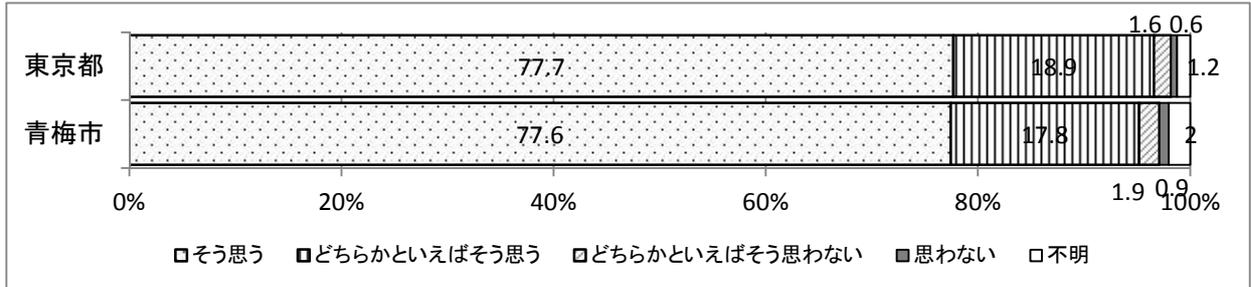
自分の住む地域や社会をよくしたいと思うかという質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合は、88.3%(90.8%)で、東京都より 2.5 ポイント下回っている。※()内は東京都の数値

② たとえ小さなことでも、地域や社会をよくするために何かしたいことがありますか。



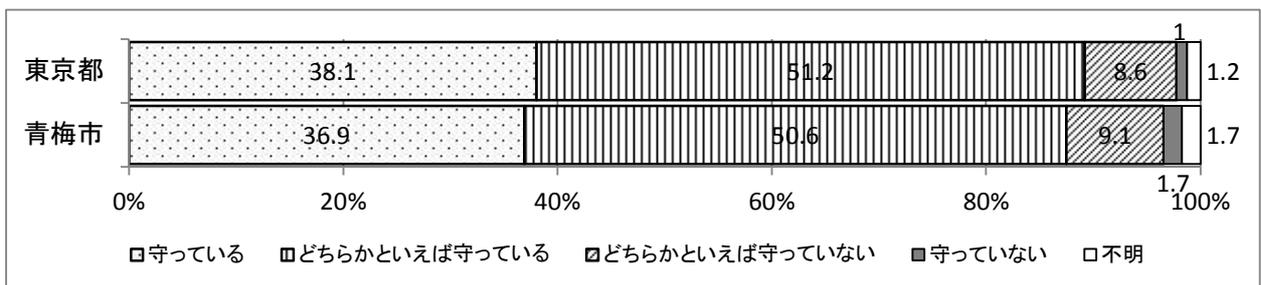
たとえ小さなことでも、地域や社会をよくするために何かしたことがあるかという質問に対して、「ある」「どちらかといえばある」と回答した児童の割合は、65.9%(70.7%)で、東京都より 4.8 ポイント下回っている。※()内は東京都の数値

③ 学校のきまりを守ることが大切だと思いますか。



学校のきまりを守ることが大切だと思うかという質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合は、95.4%(96.6%)で、東京都より 1.2 ポイント下回っている。※()内は東京都の数値

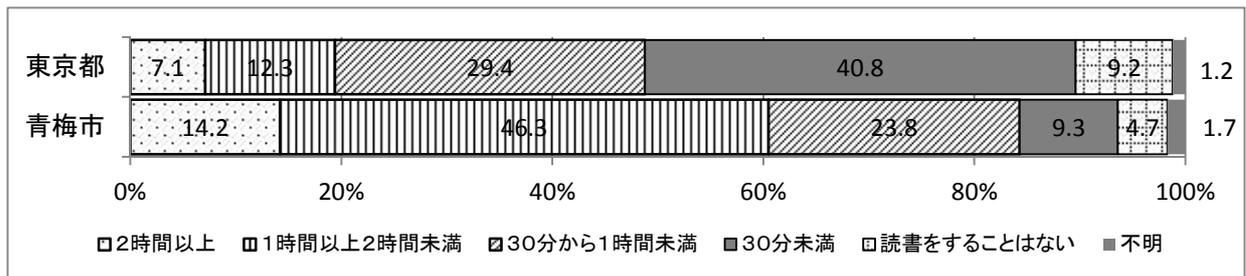
④ 学校のきまりを守っていますか。



学校のきまりを守っているかという質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合は、87.5%(89.3%)で、東京都より 1.8 ポイント下回っている。※()内は東京都の数値

規則を守っていることと平均正答率との関係	平均正答率 (%) ()内は東京都の数値			
	国語	社会	算数	理科
守っている	57.9(65.1)	53.6(59.5)	59.9(66.6)	65.2(69.5)
どちらかといえば守っている	54.3(62.3)	49.8(56.8)	57.7(63.6)	62.5(67.4)
どちらかといえば守っていない	51.4(54.8)	43.8(48.7)	48.5(55.6)	55.6(60.6)
守っていない	39.0(49.7)	33.4(41.3)	39.8(45.8)	43.1(54.3)

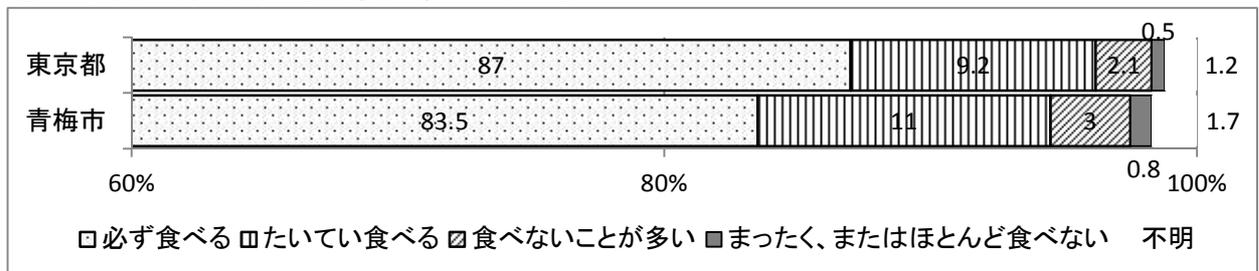
⑤ 読書を、毎日およそどのくらいしますか。



読書を、毎日およそどのくらいするかという質問である。「読書をする」と回答した児童の割合は、93.6%(89.6%)で、東京都より 4.0 ポイント上回っている。平均正答率との関連で見ると、1日に「1時間～2時間未満」および「2時間以上」の読書をする児童の平均正答率が高くなっている。 ※()内は東京都の数値

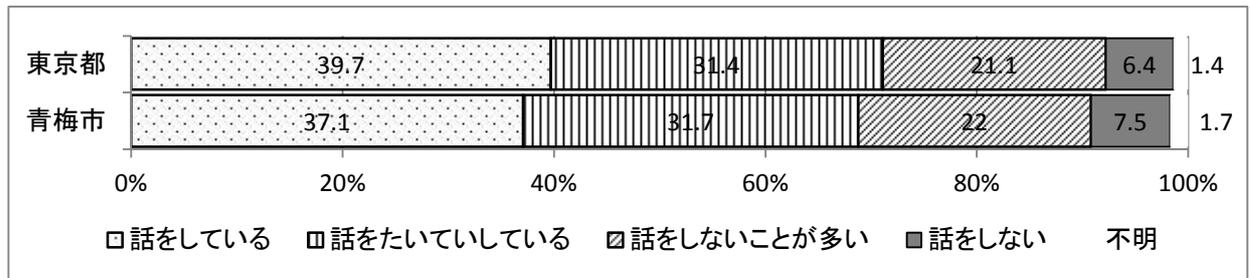
読書時間と平均正答率との関係	平均正答率 (%) ()内は東京都の数値			
	国語	社会	算数	理科
2時間以上	65.4(71.0)	55.2(64.1)	61.9(69.6)	67.2(72.8)
1時間～2時間未満	62.3(70.5)	57.6(64.0)	63.8(70.0)	68.1(72.0)
30分～1時間未満	57.3(66.8)	53.5(61.4)	60.6(68.3)	65.9(71.0)
30分未満	53.1(58.9)	48.8(53.3)	55.8(60.6)	61.1(64.8)
読書をするのではない	49.7(49.0)	43.7(44.1)	51.2(51.7)	56.4(58.1)

⑥ 学校に行く前に朝食を食べますか。



学校に行く前に朝食を食べるかという質問に対して、「必ず食べる」「たいてい食べる」と回答した児童の割合は 94.5% (96.2%) で、東京都より 1.7 ポイント下回っている。昨年度の児童よりも、2.2 ポイント下回っている。※()内は東京都の数値

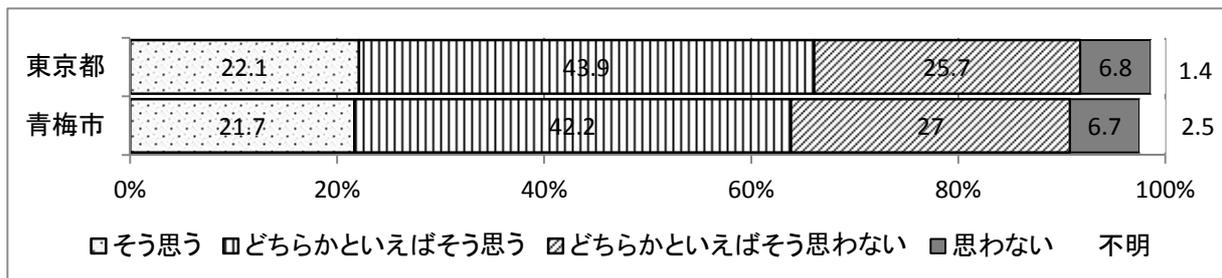
⑦ 家の人と、学校や社会の出来事について話をしますか。



家の人と、学校や社会の出来事について話をしているかという質問に対して、「話をしている」「話をたいていしている」と回答した児童の割合は 68.8% (71.1%) であった。平均正答率との関連で見ると、「話をしている」「話をたいていしている」と回答した児童の平均正答率は、「話をしないことが多い」「話をしない」と回答した児童の平均正答率より高くなっている。※()内は東京都の数値

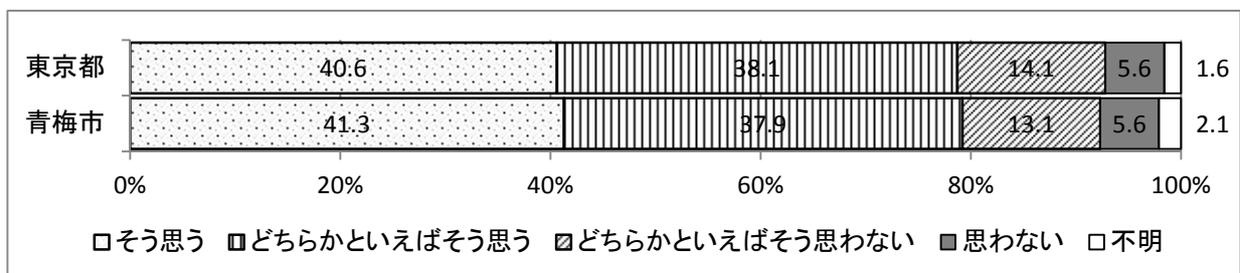
家族と話をしていることと平均正答率との関係	平均正答率 (%) ()内は東京都の数値			
	国語	社会	算数	理科
話をしている	59.4(67.4)	55.0(61.9)	62.6(68.3)	66.5(71.0)
話をたいていしている	53.4(61.3)	49.0(55.8)	55.3(62.7)	61.5(66.9)
話をしないことが多い	52.7(58.8)	47.4(52.6)	54.8(60.4)	59.4(64.3)
話をしない	48.3(52.6)	42.0(46.5)	48.3(53.6)	56.6(59.4)

⑧ 自分は、最後までやりぬくなど、根気強い方だと思いますか。



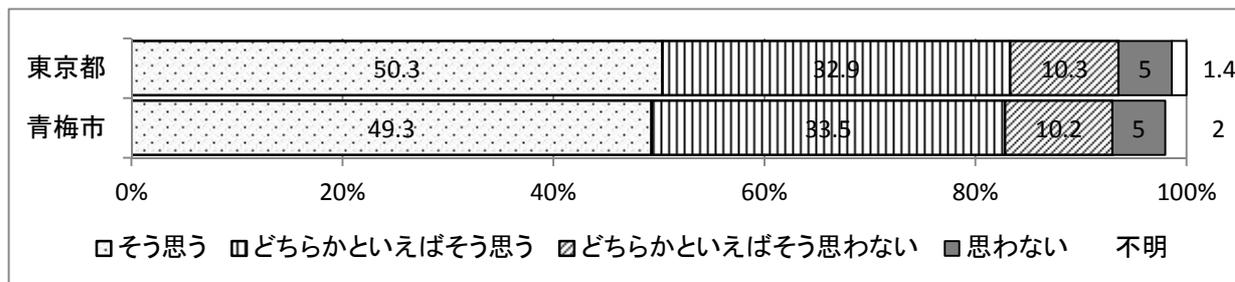
「自分は、最後までやりぬくなど、根気強い方だと思うか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合は 63.9% (66.0%) であった。東京都より 2.1 ポイント下回っている。※()内は東京都の数値

⑨ 自分のことを大切な存在だと感じていますか。



自分のことを大切な存在だと感じているかという質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合は 79.2% (78.7%) であった。東京都より 0.5 ポイント上回っている。※()内は東京都の数値

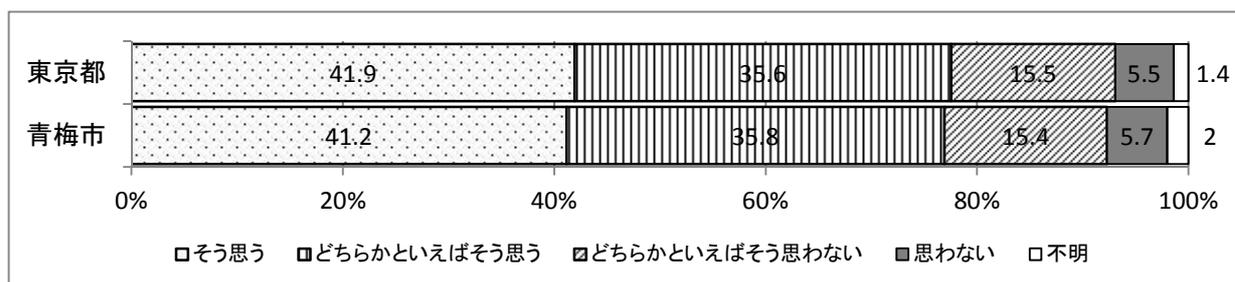
⑩ 自分の国のよいところを外国の人に伝えたいと思いますか。



自分の国のよいところを外国の人に伝えたいと思うかという質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合は 82.8% (83.2%) であった。

※()内は東京都の数値

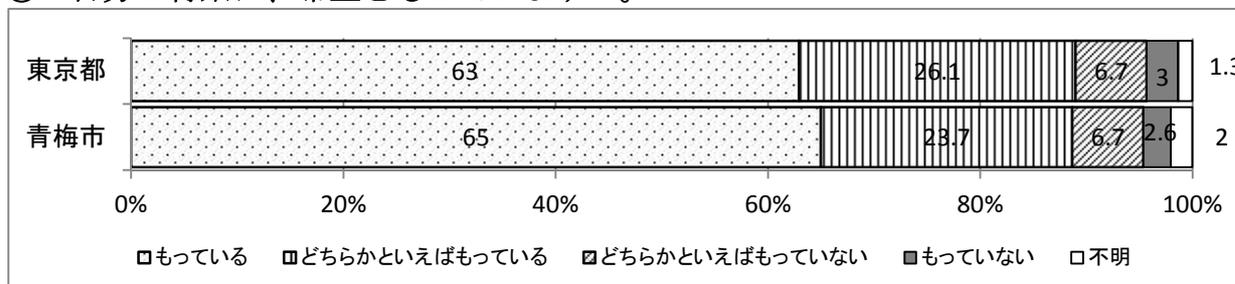
⑪ 将来、社会や人のために役立つ仕事がしたいと思いますか。



将来、社会や人のために役立つ仕事がしたいと思うかという質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合は 77% (77.5%) であった。

※()内は東京都の数値

⑫ 自分の将来に、希望をもっていますか。



将来、社会や人のために役立つ仕事がしたいと思うかという質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した児童の割合は 88.7% (89.1%) であった。

東京都より 0.4 ポイント下回っている。 ※()内は東京都の数値

将来への希望と平均正答率との関係	平均正答率 (%) ()内は東京都の数値			
	国語	社会	算数	理科
もっている	59.4(63.6)	55.0(57.8)	62.6(64.9)	66.5(68.2)
どちらかといえばもっている	53.4(62.2)	49.0(56.9)	55.3(63.7)	61.5(67.5)
どちらかといえばもっていない	52.7(58.5)	47.4(52.9)	54.8(59.0)	59.4(64.1)
もっていない	48.3(56.0)	42.0(48.8)	48.3(55.1)	56.6(60.2)

平均正答率との関連で見ると、将来への希望をもっているという意識が明確であるほど平均正答率が高くなっている。

3 指導の改善に向けて

本調査の結果から、確かな学力の向上を図るための指導上の改善点について提言する。

(1) 授業改善のための視点

① 「できない」「分からない」を「できる」「分かる」ようにするための指導の徹底

本調査の結果から、国語、社会、算数、理科のどの教科においても、授業が「よく分かる」と感じている児童ほど、平均正答率が高いことが分かる。授業が「分かる」と回答した児童と「ほとんど分からない」と回答した児童の平均正答率の差は、国語が33(36.5)ポイント、社会が26.2(31.9)ポイント、算数が41.8(38.8)ポイント、理科が44.9(23.1)ポイントである。これらの結果から、「できない」「分からない」箇所があれば、繰り返しの指導や前の学年の内容に立ち戻った指導を通して「できる」「分かる」ようにする指導を徹底することが求められている。また、授業の中で知識的な達成感を経験させ、分からなかったら調べる子供を育成する必要がある。誰もが「分かる授業」が「よい授業」ではない。学級の中の学力中位層の子供たちが、先生方の与えた課題で、達成感とやる気を得ることが大切である。

※下線は田中教授による指導・助言による。※()内は東京都の数値

② 取り組むべき内容を明確にした復習の徹底

本調査の結果から、「その日に受けた算数の授業の内容について、家に帰って何を学習すればよいか分かっているか」の質問に対して「分かる」と回答した児童ほど、平均正答率高い傾向にある。したがって、児童に宿題等の課題を提示する際には、日々の授業との関連を十分考慮したものとすることが大切である。また、授業中に行う確認テスト等においても、実施後に各問題に対する復習のポイントや立ち戻るべき学習内容を提示し、放課後学習教室（ステップアップ地域推進事業）や家庭学習を活用しながら、間違えてしまった問題をできるようにさせることが大切である。

③ 「読み解く力」を高める指導の工夫

どの教科においても、「比較・関連付けて読み取る力」や「意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力」の平均正答率が低い傾向にある。言語活動を充実させ、思考力を育む授業改善が大切である。

(2) 学校と家庭との連携を図った指導の充実

調査結果から、基本的な生活習慣、規範意識、忍耐力、自尊感情、奉仕の精神、社会貢献に関する質問に対して「している（そう思う）」と回答した児童ほど、平均正答率が高い傾向にある。また、家庭での学習習慣が身に付いている児童ほど平均正答率が高い傾向にある。学力向上のために、家庭との連携をより一層深め、児童一人一人の基本的な生活習慣や学習習慣が確立できるよう指導していくことが大切である。

(3) 青梅市基礎学力定着アドバイザー 田中 洋一 先生による指導・助言

<授業改善の方向性について>

授業の展開を考える中で、授業の目標（めあて）を示すことと、学習者による振り返りの時間を設定することはセットである。授業の導入と終末を工夫することで、子供たちが授業を終えた後、達成感をもつかもたないかが決まってくる。授業が始まる前には分からなかったことが、授業後は分かるようになっている。その為には、個に応じた授業を行うとともに、学力中位層の子供たちが活躍する授業を行う必要がある。

II 中学校における学習に関する意識調査について

1 調査の概要

本意識調査は、次の6点の事項について第2学年の生徒に質問した。

(1) 各教科の内容の理解の程度について

(2) 各教科の内容の分かるための要因について

上記(1)で、「授業がよく分かる」、または「どちらかといえば分かる」と回答した生徒を対象に質問した。

■学習方法 ■教員の姿勢 ■学習者の姿勢 ■その他

(3) 数学や英語の学習について、学校以外での学習について

(4) 理科に関する意識について

(5) 英語に関する意識について勤務

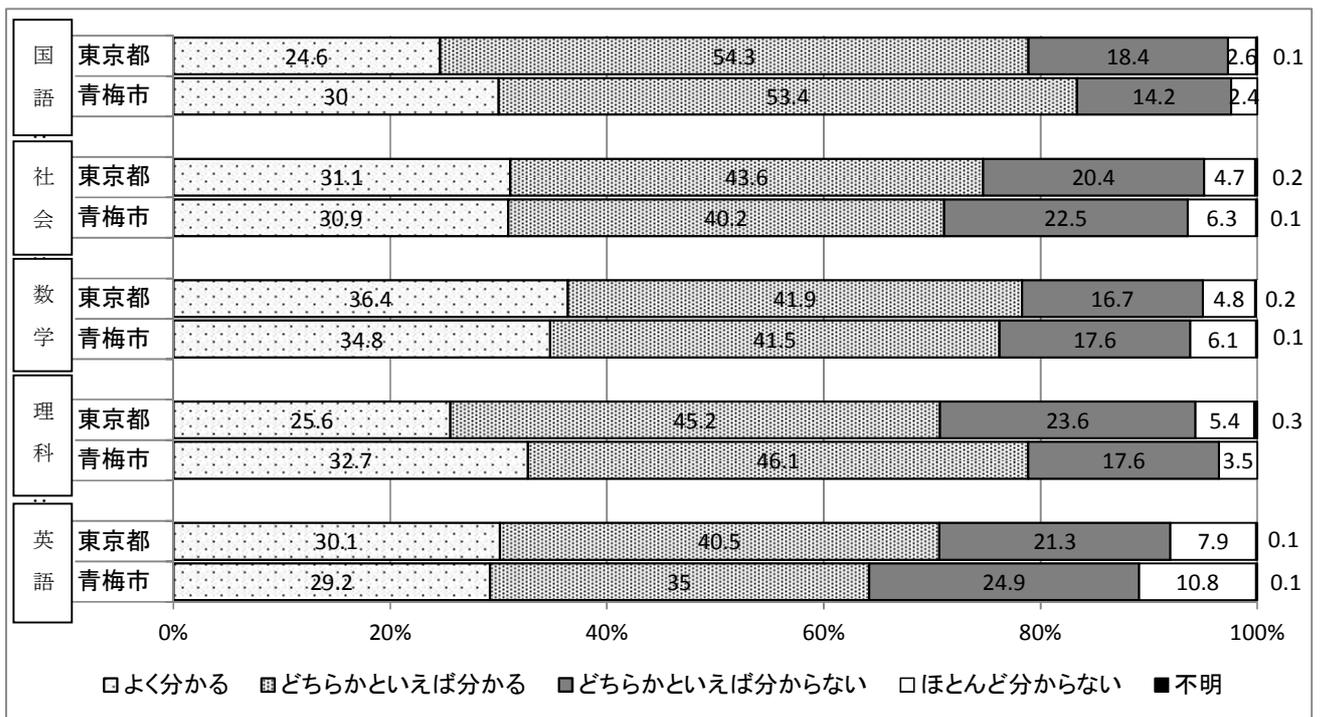
(6) 生活や行動等について

なお、本調査は、数値を四捨五入していることから、合計が100%にならないことがある。

2 調査結果の概要

(1) 各教科の内容の理解の程度について

① 授業の内容はどのくらい分かりますか。



授業内容の理解度と平均正答率との関係	平均正答率 (%) ()内は東京都の数値				
	国語	社会	数学	理科	英語
よく分かる	54.4(62.7)	56.5(63.2)	62.3(67.5)	54.5(59.9)	60.8(73.1)
どちらかといえば分かる	47.9(54.5)	48.8(52.9)	52.3(56.6)	45.6(50.2)	51.9(59.8)
どちらかといえば分からない	37.5(45.3)	38.7(43.3)	39.6(43.3)	39.5(42.2)	40.4(47.9)
ほとんど分からない	29.6(37.1)	29.2(36.2)	30.5(30.7)	30.6(36.2)	30.3(39.1)

平成27年度の第2学年において、授業の内容が「よく分かる」「どちらかといえば分かる」と回答した生徒の割合は、国語が83.4%(78.9%)、社会が71.1%(74.7%)、数学が76.3%(78.3%)、理科が78.8%(70.8%)、英語が64.2%(70.6%)である。

※()内は東京都の数値

(2) 授業の内容が分かる要因について

次の表は、授業の内容が分かる要因について、生徒が教科等ごとに回答した割合が10%以上のもの（青梅市、東京都どちらか）を示したものである。

	質 問 内 容	東京都	青梅市
国 語	国語の先生の教え方がていねいだから	43.7%	65.1%
	お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから	27.9%	40.9%
	自分で考え、考えたことを発表する授業が多いから	26.2%	40.1%
	読書が好きだから	23.7%	27.9%
	塾や家庭で教えてもらっているから	16.0%	9.3%
	授業中にくり返し学習する時間があるから	14.7%	19.8%
	国語を教えてくれる先生が好きだから	14.4%	18.0%
	自分で予習や復習をしているから	12.3%	13.3%
	分からないときには自分で調べるから	11.2%	12.2%
	分からないときには学校の先生に聞くから	11.1%	20.8%

	質 問 内 容	東京都	青梅市
社 会	社会の先生の教え方がていねいだから	46.4%	58.5%
	世の中のできごとを知ることが好きだから	26.9%	38.0%
	お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから	25.2%	22.7%
	自分で考え、考えたことを発表する授業が多いから	23.5%	20.0%
	授業中にくり返し学習する時間があるから	19.3%	30.6%
	社会を教えてくれる先生が好きだから	16.1%	16.1%
	自分で予習や復習をしているから	15.2%	20.0%
	分からないときには自分で調べるから	13.8%	18.5%
	分からないときには学校の先生に聞くから	10.7%	22.7%
	塾や家庭で教えてもらっているから	10.3%	8.1%

	質 問 内 容	東京都	青梅市
数 学	数学の先生の教え方がていねいだから	42.3%	57.2%
	理解の程度などによるコース別の授業があるから	37.7%	21.3%
	塾や家庭で教えてもらっているから	33.3%	29.3%
	数学の問題にはいろいろな解き方があるから	30.6%	42.8%
	授業中にくり返し学習する時間があるから	28.8%	43.4%
	自分で考え、考えたことを発表する授業が多いから	18.8%	31.1%
	分からないときには学校の先生に聞くから	17.4%	30.5%
	自分で予習や復習をしているから	15.7%	17.7%
	お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから	14.1%	25.2%
	数学を教えてくれる先生が好きだから	10.9%	12.0%
	分からないときには自分で調べるから	10.0%	13.7%

	質問内容	東京都	青梅市
理科	観察したり、実験したりする授業が多いから	47.4%	57.0%
	理科の先生の教え方がていねいだから	33.5%	56.7%
	観察や実験をした後に、じっくりと考える時間が多いから	28.6%	35.6%
	お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから	15.6%	23.1%
	授業中にくり返し学習する時間があるから	15.2%	25.1%
	自分で考え、考えたことを発表する授業が多いから	14.1%	23.6%
	自分で予習や復習をしているから	13.3%	14.7%
	分からないときには学校の先生に聞くから	12.5%	26.2%
	分からないときには自分で調べるから	11.2%	14.0%
	理科を教えてくれる先生が好きだから	10.9%	20.1%
塾や家庭で教えてもらっているから	10.7%	8.4%	

	質問内容	東京都	青梅市
英語	英語の先生の教え方がていねいだから	34.5%	55.0%
	塾や家庭で教えてもらっているから	31.1%	34.4%
	授業で外国語指導助手（ALT）の先生が教えてくれるから	29.6%	33.1%
	授業中にくり返し学習する時間があるから	22.4%	35.8%
	自分で考え、考えたことを発表する授業が多いから	18.6%	24.0%
	理解の程度などによるコース別の授業があるから	17.4%	5.1%
	お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから	16.4%	19.0%
	自分で予習や復習をしているから	16.1%	25.8%
	分からないときには学校の先生に聞くから	14.1%	24.5%
	分からないときには自分で調べるから	12.4%	16.9%
英語を教えてくれる先生が好きだから	11.8%	12.9%	

いずれの教科等においても授業が分かる要因として比較的多く選ばれているものは、例えば次のとおりである。

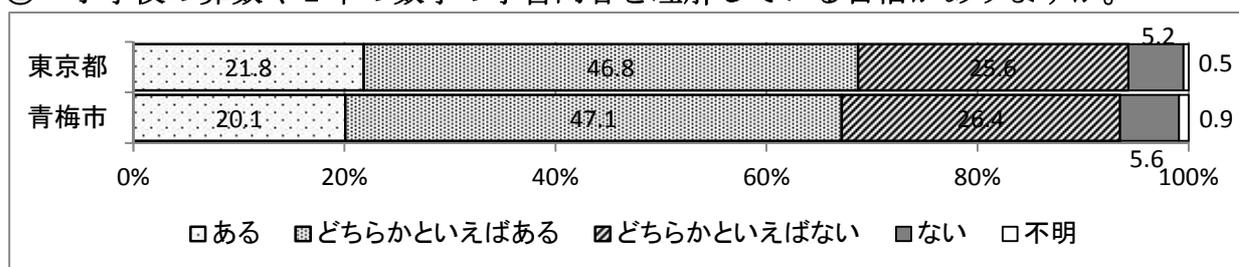
■学習方法等に関するもの	「自分で調べたり、考えたり、体験したり、観察・実験したりする授業」 「お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業」 「自分で考え、考えたことを発表する授業」「くり返し学習する」
■生徒の学習姿勢に関するもの	「自分で予習や復習をする」「分からないときには先生に聞く」
■教師の姿勢に関するもの	「先生の教え方がていねい」

また、教科等ごとに見ると、次のような教科等の特性に関するものが要因として多く選ばれている。

◆国語	「読書が好きだから」	27.9%(23.7%)	<東京都より+4.2ポイント>
◆社会	「世の中のできごとを知ることが好きだから」	38.0%(26.9%)	<東京都より+11.1ポイント>
◆数学	「数学の問題にはいろいろな解き方があるから」	42.8%(30.6%)	<東京都より+12.2ポイント>
◆理科	「観察したり、実験したりする授業が多いから」	57.0%(47.4%)	<東京都より+9.6ポイント>
◆英語	「授業で外国語指導助手(ALT)の先生が教えてくれるから」	33.1%(29.6%)	<東京都より+3.5ポイント>

(3) 数学や英語の学習について

① 小学校の算数や1年の数学の学習内容を理解している自信がありますか。



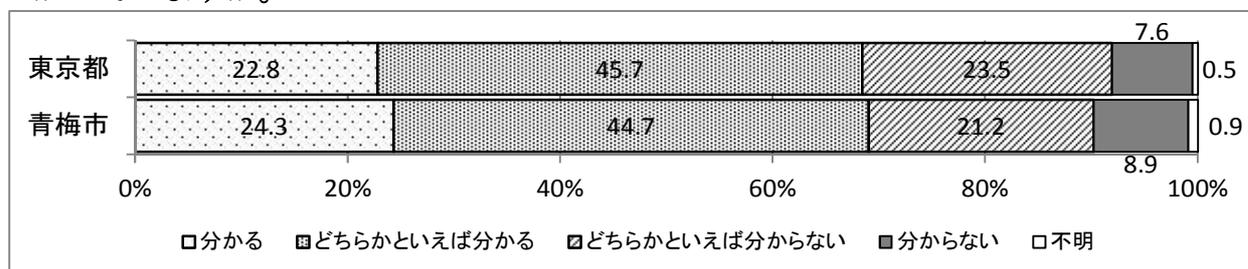
「小学校の算数や1年の数学の学習内容を理解している自信がありますか。」という質問に対して、肯定的な回答をした生徒の割合は67.1%（68.6%）である。

※()内は東京都の数値

数学の学習内容を理解している自信の度合いと平均正答率	数学の平均正答率 (%)
ある	62.9 (68.4)
どちらかといえばある	55.5 (58.8)
どちらかといえばない	42.1 (47.6)
ない	35.7 (42.2)

平均正答率との関連で見ると、「ある」「どちらかといえばある」と答えた生徒の平均正答率は「どちらかといえばない」「ない」と答えた生徒の平均正答率よりも高く、その差が顕著となっている。

② その日に受けた数学の授業の内容について、家に帰って何を学習すればよいか分かっていますか。

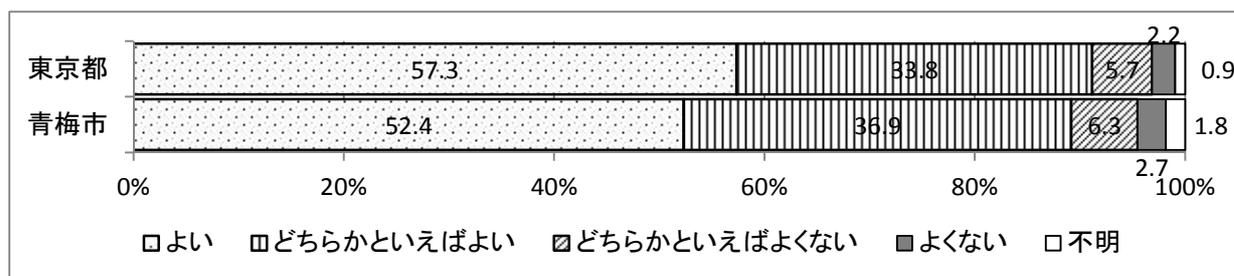


その日に受けた数学の授業の内容について、家に帰って何を学習すればよいか分かっていますかという質問に対して、「分かる」「どちらかといえば分かる」と回答した生徒の割合は、69%（68.5%）である。※()内は東京都の数値

家で学習することが明確であることと平均正答率	数学の平均正答率 (%)
分かる	59.4 (63.4)
どちらかといえば分かる	53.9 (58.2)
どちらかといえば分からない	47.2 (51.8)
分からない	37.3 (48.4)

平均正答率の関連で見ると、「分かる」「どちらかといえば分かる」と答えた生徒の平均正答率は、「どちらかといえば分からない」「分からない」と答えた生徒の平均正答率よりも高くなっている。自分が学習すべきことが明確であることが、学習内容のより高い理解へと結びついていると考えられる。

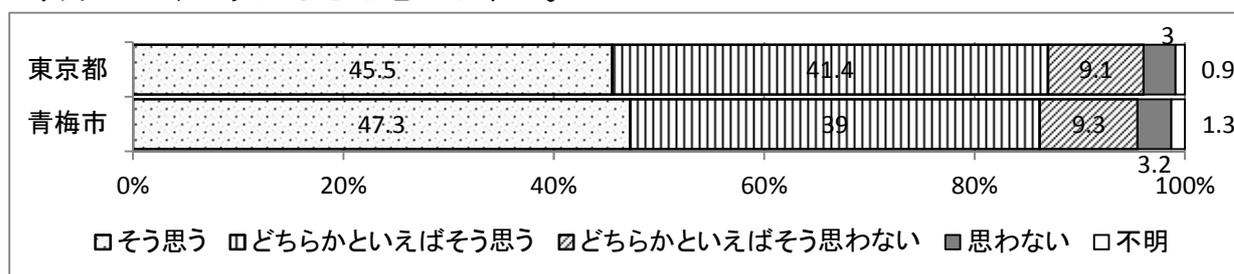
- ③ 数学や英語において、自分の学力に応じたコースに分かれた授業を受けることについて、どのように思いますか。



「数学や英語において、自分の学力に応じたコースに分かれた授業を受けることについて、どのように思いますか」という質問に対して、「よい」「どちらかといえばよい」と答えた生徒の割合は、89.3%(91.1%)である。※()内は東京都の数値

習熟度別指導に対する意識と 平均正答率の関係	平均正答率 (%)	
	数 学	英 語
よい	55.3 (60.9)	52.6 (63.5)
どちらかといえばよい	51.2 (53.9)	48.0 (56.2)
どちらかといえばよくない	42.3 (44.2)	38.0 (47.1)
よくない	32.7 (47.3)	32.4 (49.2)

- ④ 数学や英語において、自分の学力に応じたコースに分かれた授業を受けることで、学力がつくようになると思いますか。



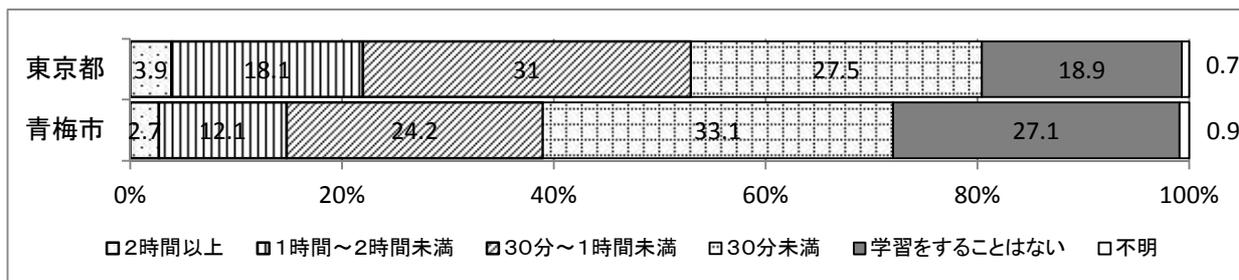
「数学や英語において、自分の学力に応じたコースに分かれた授業を受けることで、学力がつくようになると思うか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は、86.3%(86.9%)である。※()内は東京都の数値

習熟度別指導に対する意識と 平均正答率の関係	平均正答率 (%)	
	数 学	英 語
そう思う	55.4 (61.5)	52.4 (63.9)
どちらかといえばそう思う	51.6 (54.4)	48.4 (57.1)
どちらかといえばそう思わない	45.3 (51.2)	42.4 (53.9)
思わない	34.3 (49.3)	37.1 (51.7)

正答率の関連で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の平均正答率は、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と答えた生徒の平均正答率よりも高くなっている。習熟の程度に応じて指導方法や教材等を変えるなど、効果的な習熟度別指導を行うことで、正答率の一層の向上につながるものと考えられる。

(4) 学校以外での学習について

① 学校以外で、毎日およそどのくらい学習をしますか。(塾や習い事は含めない)

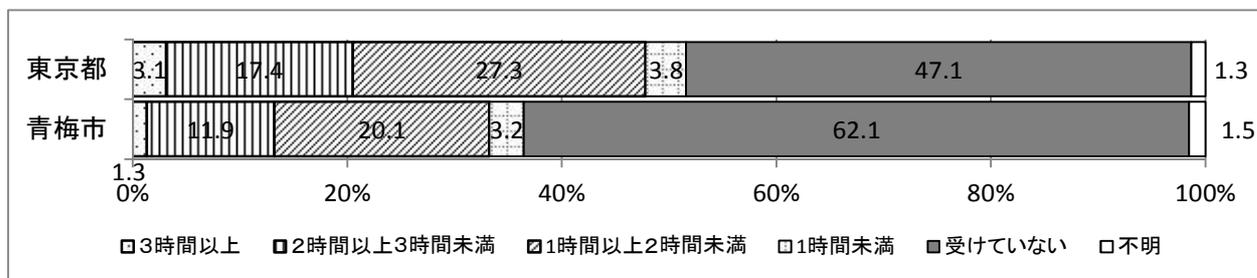


「学校以外で、毎日およそどのくらい学習をするか」という質問に対して、「学習をしている」と答えた生徒の割合は、72.1%(80.5%)である。平均正答率との関連で見ると、国語と数学については、1日に「2時間以上」、社会・理科・英語については、「1時間から2時間未満」の生徒の平均正答率が高くなっている。

※()内は東京都の数値

学習時間と平均正答率との関係	平均正答率 (%) ()内は東京都の数値				
	国語	社会	数学	理科	英語
2時間以上	52.7(61.4)	53.1(62.7)	58.2(66.2)	49.8(56.9)	53.9(68.4)
1時間～2時間未満	50.9(58.2)	54.1(58.5)	56.6(62.2)	50.1(53.7)	55.3(65.7)
30分～1時間未満	49.2(55.2)	49.1(54.6)	54.6(58.1)	47.9(50.6)	52.8(61.4)
30分未満	47.6(52.9)	47.5(51.7)	51.9(55.6)	46.9(49.3)	48.2(56.8)
学習をすることはしない	45.8(50.4)	43.5(47.4)	48.4(51.4)	44.6(45.9)	44.7(53.5)

② 塾の先生や家庭教師の先生による学習を受ける時間は、1日当たりどのくらいですか。

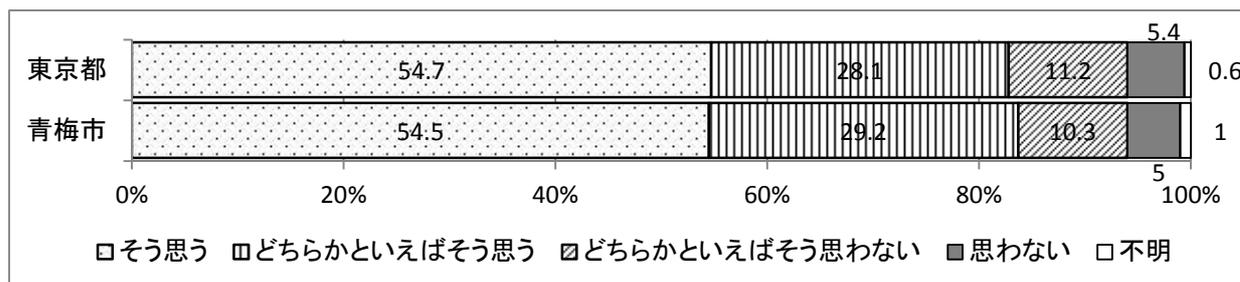


「塾の先生や家庭教師の先生による学習を、1日当たりどのくらいするか」という質問に対して、「学習を受けている」と回答した生徒の割合は、36.5% (51.6%) である。※()内は東京都の数値

通塾時間と平均正答率との関係	平均正答率 (%) ()内は東京都の数値				
	国語	社会	数学	理科	英語
3時間以上	55.3(58.2)	53.6(57.6)	63.5(63.8)	55.4(53.4)	55.7(67.1)
2時間～3時間未満	50.9(57.1)	50.7(55.8)	60.7(62.6)	48.2(51.5)	58.2(66.3)
1時間～2時間未満	45.9(52.7)	46.2(51.4)	52.5(56.9)	44.3(47.9)	52.4(59.9)
1時間未満	47.2(55.8)	49.4(56.0)	53.1(60.1)	47.8(52.7)	52.4(62.7)
学習をすることはしない	48.1(54.1)	47.5(53.4)	50.4(54.8)	47.4(50.6)	46.5(56.6)

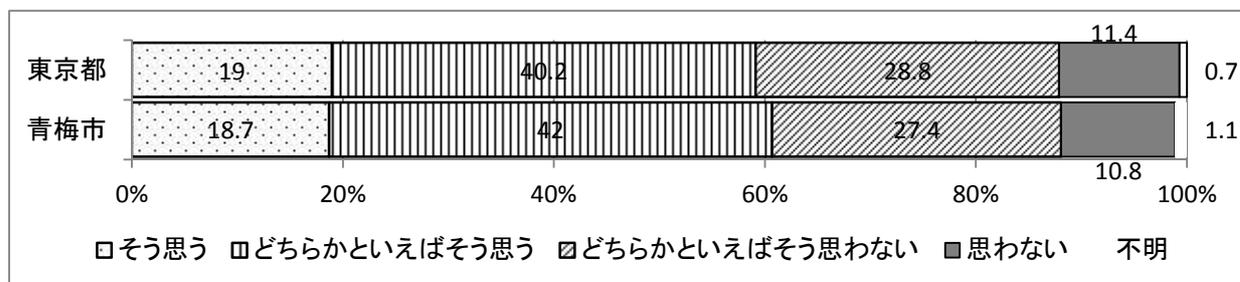
(5) 理科に関する意識について

① 理科の授業で、もっと観察・実験をしたいと思いませんか。



「理科の授業で、もっと観察・実験したいと思うか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は、83.4%(82.8%)である。平均正答率との関連で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の平均正答率は、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と答えた生徒の平均正答率よりも高くなっている。※()内は東京都の数値

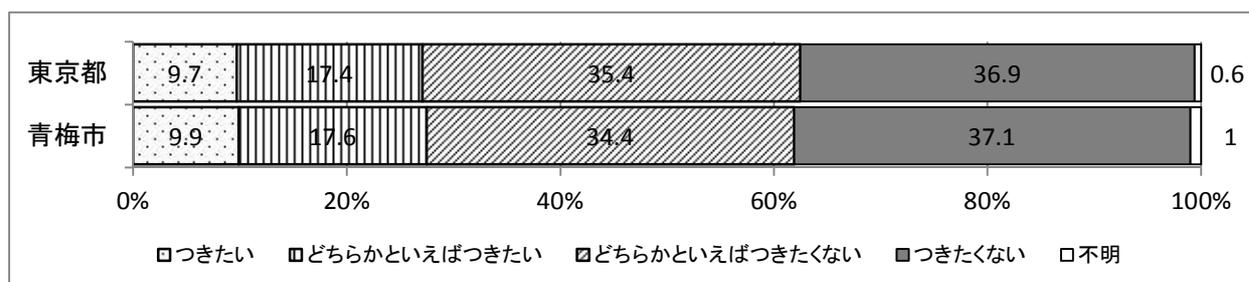
② 理科の授業で学習したことは、普段の生活で役立つと思うか。



理科の授業で学習したことは、普段の生活の中で役立つかという質問に対して「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒の割合は、60.7%(59.2%)である。※()内は東京都の数値

理科の学習内容が生活で役立つかという意識と平均正答率	理科の平均正答率 (%)
そう思う	48.8 (54.4)
どちらかといえばそう思う	49.0 (51.8)
どちらかといえばそう思わない	45.2 (48.1)
思わない	40.2 (42.5)

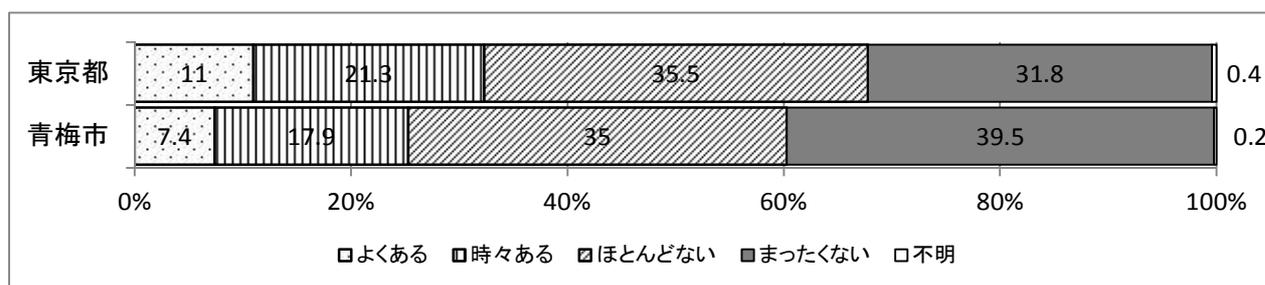
③ 将来、「理科や数学、科学技術に関する仕事」につきたいと思いませんか。



「将来、理科や数学、科学技術に関する仕事につきたいと思うか」という質問に対して「つきたい」「どちらかといえばつきたい」と答えた生徒の割合は、27.5%(27.1%)である。※()内は東京都の数値

(6) 英語に関する意識調査について

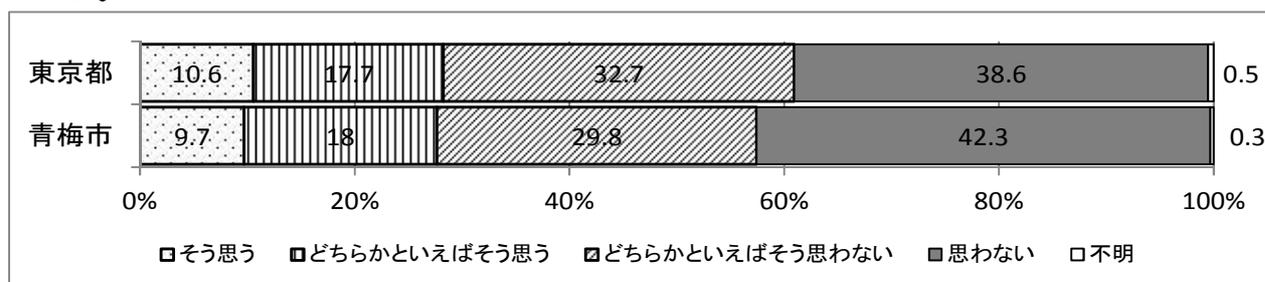
① 学校・塾・習い事以外で、英語を使う機会がありますか。



英語を使う頻度と平均正答率	英語の平均正答率 (%)
よくある	52.0 (66.1)
時々ある	50.0 (61.2)
ほとんどない	52.6 (61.2)
まったくない	45.6 (54.9)

「学校・塾・習い事以外で、英語を使う機会があるか」という質問に対して、「よくある」「時々ある」と答えた生徒の割合は、**24.8% (32.3%)**であり、**東京都を7.5ポイント下回っている**。平均正答率の関連で見ると、「よくある」とした生徒の回答率は、「時々ある」「ほとんどない」「まったくない」と答えた生徒の英語の平均正答率よりも高くなっている。日常生活を含め、英語を使うより多くの機会をつくっていくことが大切である。※()内は東京都の数値

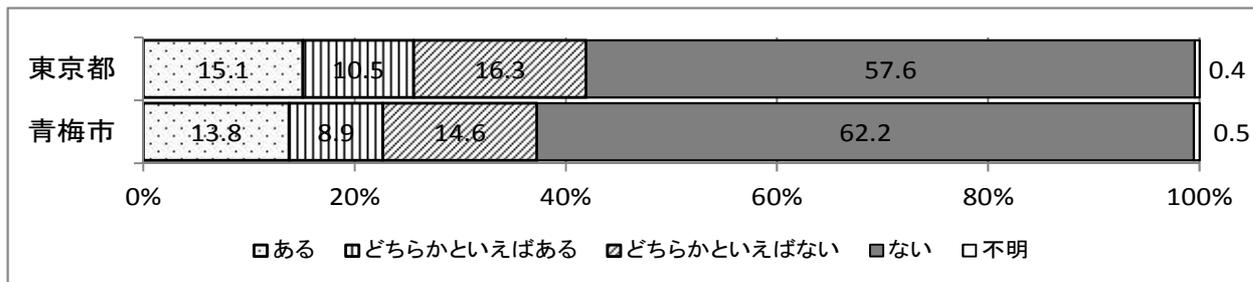
② 学校・塾・習い事以外で、外国の人がいるときに、話しかけてみたいと思いますか。



「学校・塾・習い事以外で、外国の人がいるとき、話しかけてみたいと思うか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は、**27.7% (28.3%)**である。※()内は東京都の数値

外国の人へ英語で話しかけてみたいという意識と平均正答率	英語の平均正答率 (%)
そう思う	54.2 (65.3)
どちらかといえばそう思う	53.7 (64.0)
どちらかといえばそう思わない	52.7 (61.6)
思わない	44.0 (54.6)

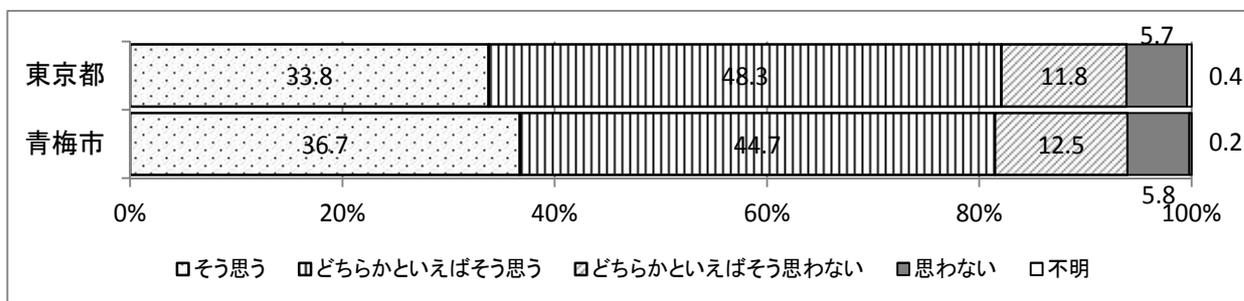
③ 学校・塾・習い事以外で、外国の人がいるとき、話しかけたことはありますか。



「学校・塾・習い事以外で、外国の人がいるとき、話しかけたことはあるか」という質問に対して、「ある」「どちらかといえばある」と答えた生徒の割合は、22.7% (25.6%) である。※()内は東京都の数値

(7) 生活や行動等について

① 自分の住む地域や社会をよくしたいと思いませんか。

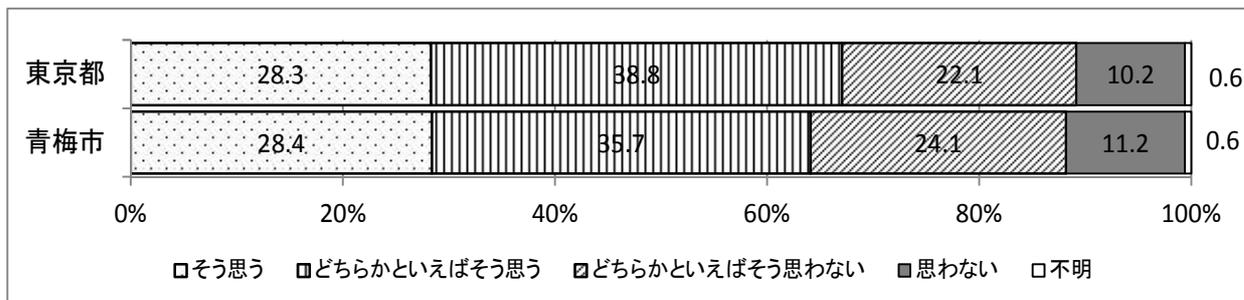


「自分の住む地域や社会をよくしたいと思うか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は 81.4% (82.1%) である。

※()内は東京都の数値

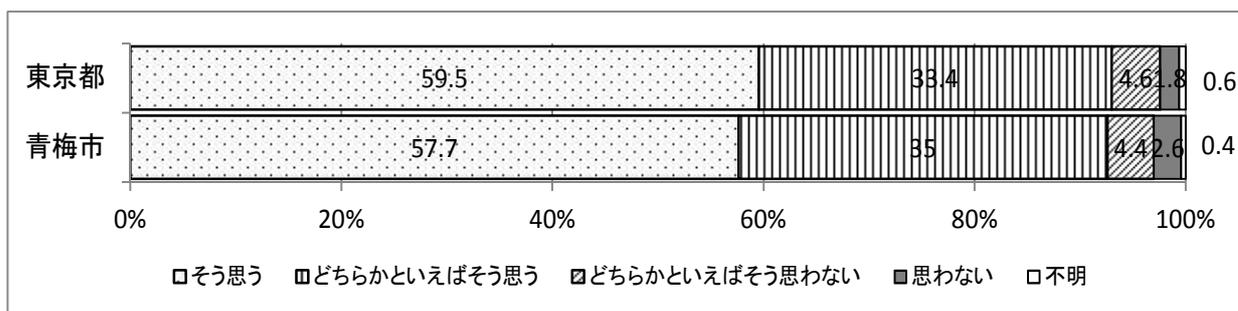
地域や社会をよくする意識と平均正答率との関係	平均正答率 (%) ()内は東京都の数値				
	国語	社会	数学	理科	英語
そう思う	48.9(56.0)	49.4(55.8)	53.1(59.3)	48.1(51.6)	52.1(62.6)
どちらかといえばそう思う	50.1(55.6)	49.1(54.2)	54.5(58.2)	48.3(50.8)	50.3(60.1)
どちらかといえばそう思わない	42.3(48.4)	41.2(47.4)	45.6(50.5)	42.6(45.9)	42.2(52.9)
思わない	37.7(46.9)	40.0(45.7)	43.6(50.3)	39.0(44.5)	39.4(53.1)

② たとえ小さなことでも、地域や社会をよくするために何かしたことがありますか。



「たとえ小さなことでも、地域や社会をよくするために何かしたことがあるか」という質問に対して、「ある」「どちらかといえばある」と答えた生徒の割合は 64.1% (67.1%) である。※()内は東京都の数値

③ 学校の規則やきまりを守ることが大切だと思いますか。

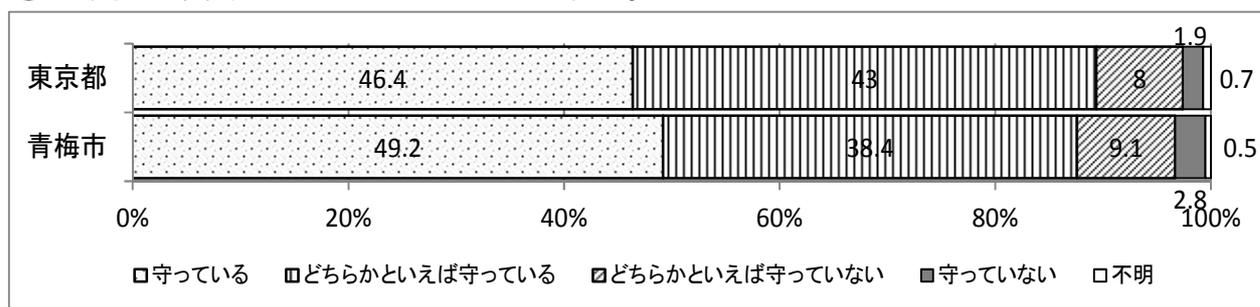


「学校の規則やきまりを守ることが大切だと思うか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は 92.7% (92.9%) である。

※()内は東京都の数値

規則意識と平均正答率との関係	平均正答率 (%) ()内は東京都の数値				
	国語	社会	数学	理科	英語
そう思う	50.7(55.8)	51.1(55.4)	55.3(59.0)	48.9(51.5)	52.5(61.6)
どちらかといえばそう思う	46.0(53.6)	44.5(51.9)	49.4(56.0)	45.3(49.2)	46.8(58.2)
どちらかといえばそう思わない	39.8(46.4)	38.9(45.4)	44.4(47.6)	39.2(43.4)	35.6(50.9)
思わない	29.7(43.3)	32.4(41.3)	36.9(44.8)	39.3(40.0)	34.1(47.9)

④ 学校の規則やきまりを守っていますか。

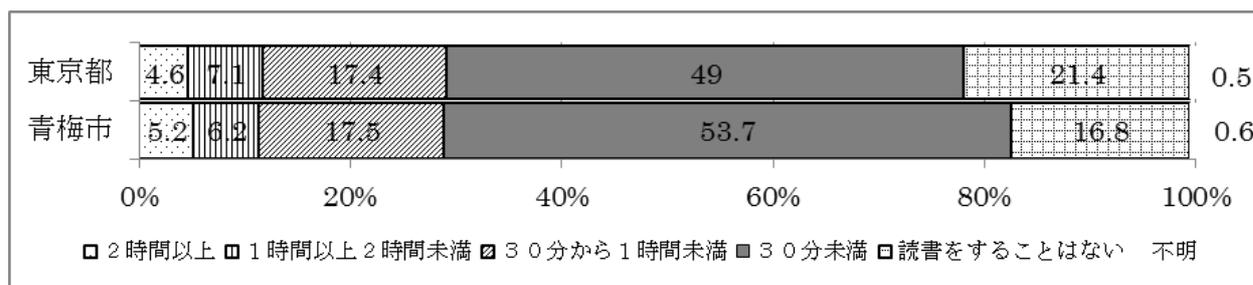


学校の規則やきまりを守っているかという質問に対して、「守っている」「どちらかといえば守っている」と答えた生徒の割合は、87.6% (89.4%) である。平均正答率との関連で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の平均正答率は、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と答えた生徒の平均正答率よりも高くなっている。

※()内は東京都の数値

規則意識と平均正答率との関係	平均正答率 (%) ()内は東京都の数値				
	国語	社会	数学	理科	英語
守っている	51.9(56.8)	51.6(56.4)	55.9(60.0)	49.6(52.4)	54.2(63.3)
どちらかといえば守っている	45.9(54.1)	46.1(53.0)	50.8(56.9)	45.9(49.8)	47.0(58.6)
どちらかといえば守っていない	40.3(45.6)	38.6(43.5)	42.3(46.8)	40.0(42.5)	37.4(48.8)
思わない	34.5(38.1)	32.8(34.7)	41.5(38.6)	39.1(36.1)	34.1(41.4)

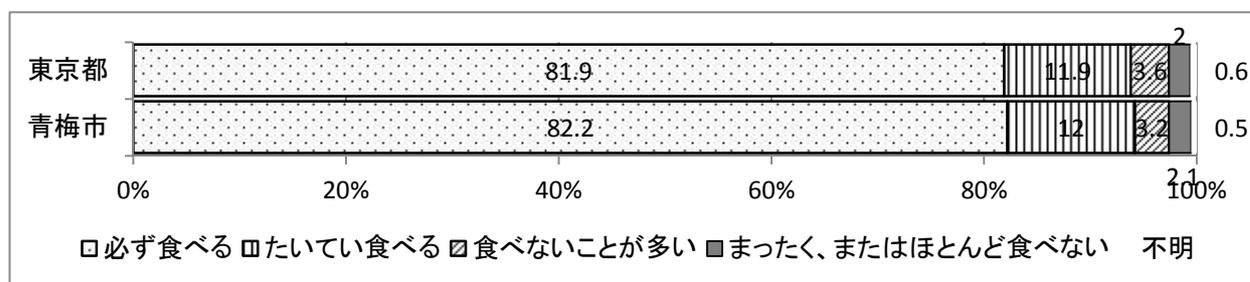
⑤ 読書を毎日およそどのくらいしますか。



読書時間と 平均正答率との関係	平均正答率 (%) ()内は東京都の数値				
	国語	社会	数学	理科	英語
2時間以上	51.8(59.0)	49.3(56.2)	49.3(58.6)	48.8(52.2)	49.6(59.7)
1時間～2時間未満	58.3(60.7)	59.1(60.0)	62.5(61.4)	55.3(55.5)	54.9(64.4)
30分～1時間未満	49.5(58.3)	48.2(58.0)	51.1(60.4)	45.8(53.5)	49.3(63.3)
30分未満	47.9(54.6)	48.2(53.8)	53.5(58.3)	47.9(50.5)	50.8(60.3)
読書をすることはない	41.4(47.7)	41.1(46.4)	46.6(50.5)	41.2(44.4)	42.1(53.3)

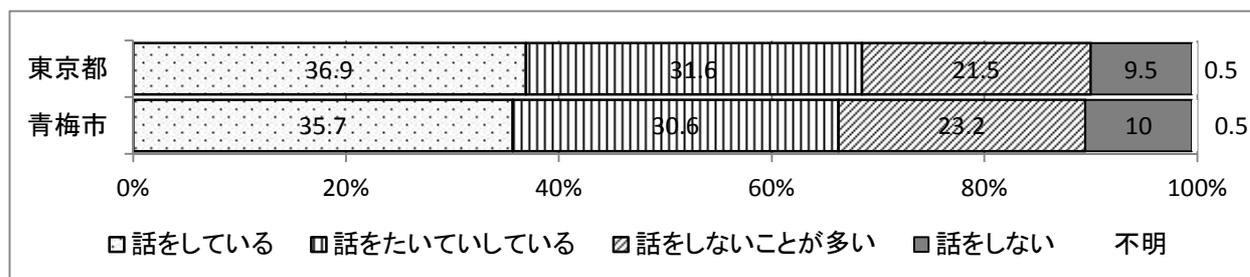
「読書を、毎日およそどのくらいするか」という質問に対して、「読書をしている」と回答した生徒の割合は82.6% (78.1%) で東京都を4.5ポイント上回っている。平均正答率との関連で見ると、1日に「1時間～2時間未満」の読書をする生徒の教科の平均正答率が高いという傾向がある。※()内は東京都の数値

⑥ 学校に行く前に朝食を食べますか。



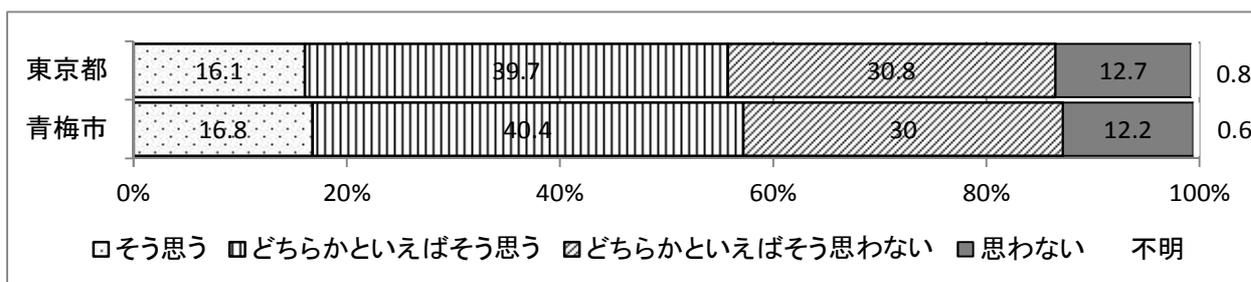
「学校に行く前に朝食を食べるか」という質問に対して、「必ず食べる」「たいてい食べる」と回答した生徒の割合は94.2% (93.8%) で、東京都を0.4ポイント上回っている。※()内は東京都の数値

⑦ 家の人と、学校や社会の出来事について話をしていますか。



「家の人と、学校や社会の出来事について話をしているか」という質問に対して、「話をしている」「話をたいていしている」と回答した生徒の割合は66.3% (68.5%) である。※()内は東京都の数値

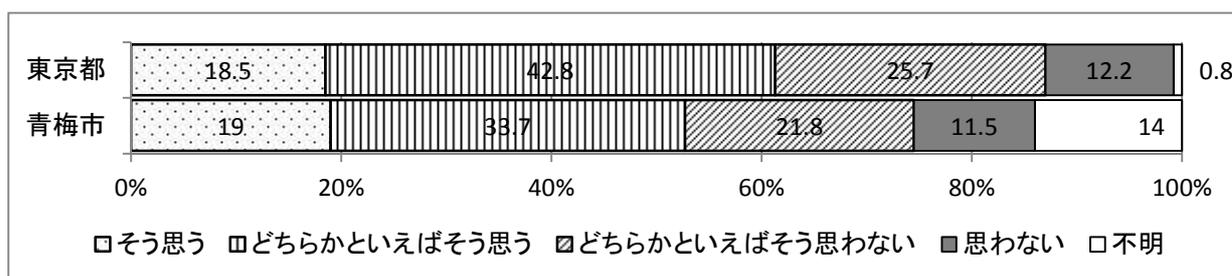
⑧ 自分は、最後までやりぬくなど、根気強い方だと思いますか。



「自分は、最後までやりぬくなど、根気強い方だと思うか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒の割合は57.2% (55.8%)であり、東京都を1.4ポイント上回っている。※()内は東京都の数値

根気強さと平均正答率との関係	平均正答率 (%) ()内は東京都の数値				
	国語	社会	数学	理科	英語
そう思う	49.6(54.4)	50.1(53.9)	54.9(57.4)	48.6(50.2)	52.3(61.4)
どちらかといえばそう思う	49.1(56.1)	49.7(55.5)	53.8(59.4)	48.8(51.6)	51.2(61.9)
どちらかといえばそう思わない	47.9(53.5)	46.4(52.3)	51.5(56.2)	45.9(49.5)	46.9(57.8)
思わない	42.3(51.9)	41.8(49.5)	45.9(52.7)	41.7(47.1)	44.8(55.5)

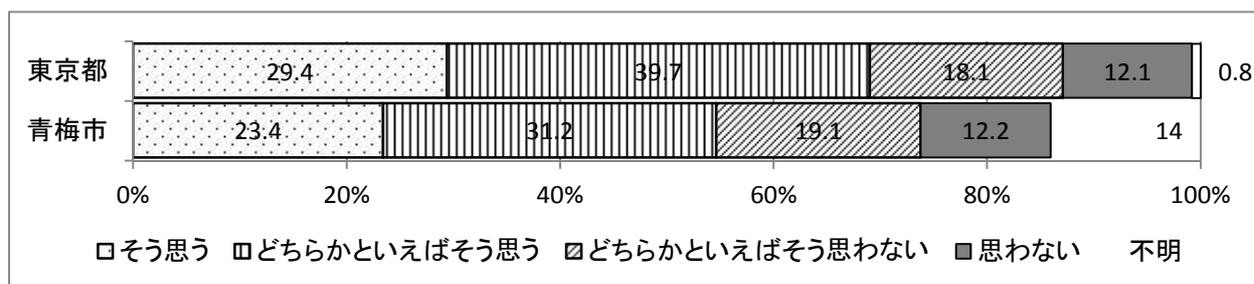
⑨ 自分のことを大切な存在だと感じていますか。



「自分のことを大切な存在だと感じているか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒の割合は52.7% (61.3%)で、東京都を8.6ポイント下回っている。※()内は東京都の数値

自尊感情と平均正答率との関係	平均正答率 (%) ()内は東京都の数値				
	国語	社会	数学	理科	英語
感じている	47.2(54.3)	49.5(54.4)	51.2(57.4)	48.6(50.1)	49.9(61.2)
どちらかといえば感じている	49.9(55.7)	47.8(55.3)	53.8(59.3)	48.3(51.7)	51.0(61.3)
どちらかといえば感じていない	46.8(54.0)	46.2(52.1)	51.6(55.7)	46.1(49.4)	46.7(58.6)
感じていない	42.3(51.3)	43.9(48.7)	47.1(53.0)	43.7(46.4)	43.9(54.7)

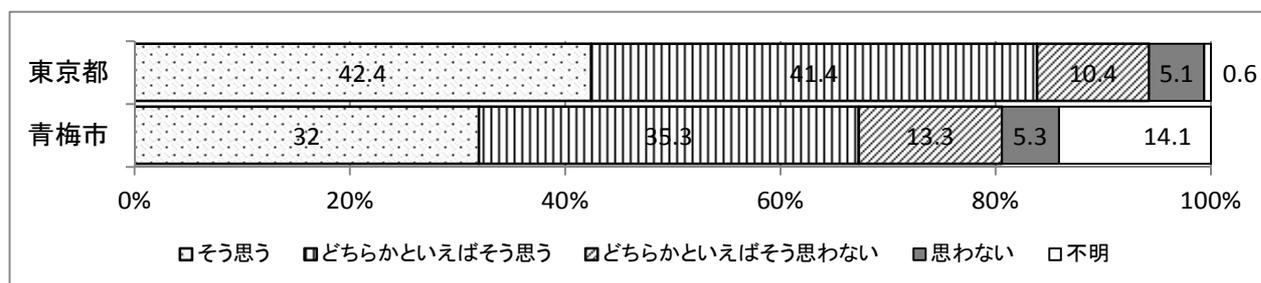
⑩ 自分の国のよいところを外国の人に伝えたいと思いますか。



「自分の国のよいところを外国の人に伝えたいと思うか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は、54.6% (69.1%) で、東京都を14.5ポイント下回っている。※()内は東京都の数値

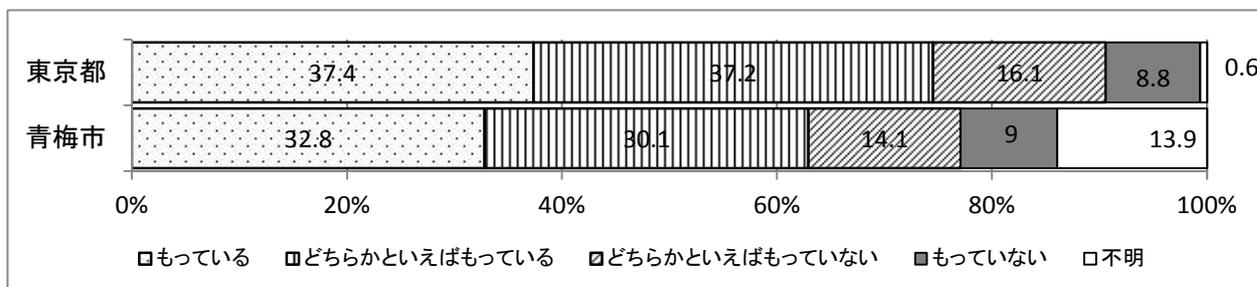
自国のよいところを伝える意識と平均正答率との関係	平均正答率 (%) ()内は東京都の数値				
	国語	社会	数学	理科	英語
感じている	48.6(56.2)	48.8(55.7)	51.9(58.7)	47.9(51.1)	50.9(63.1)
どちらかといえば感じている	50.1(55.8)	50.3(54.9)	54.9(58.9)	50.0(51.5)	52.3(61.4)
どちらかといえば感じていない	46.3(52.0)	44.6(50.8)	50.7(54.9)	44.9(48.7)	45.2(55.9)
感じていない	40.6(49.2)	40.7(47.4)	45.3(51.7)	41.9(45.6)	41.0(52.0)

⑪ 将来、社会や人のために役立つ仕事がしたいと思いますか。



「将来、社会や人のために役立つ仕事がしたいと思いますか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は、82.6% (82.8%) であった。※()内は東京都の数値

⑫ 自分の将来に、希望をもっていますか。



「自分の将来に、希望をもっているか」という質問に対して、希望を「もっている」「どちらかといえばもっている」と答えた生徒の割合は、67.3% (74.6%) で、東京都を11.7ポイント下回っている。※()内は東京都の数値

3 指導の改善に向けて

本調査の結果から、確かな学力の向上を図るための指導上の改善点について提言する。

(1) 授業改善のための視点

① 「基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成」を図る指導の徹底

本調査の結果から、国語、社会、数学、理科、英語のどの教科においても、授業がよく分かると感じている生徒ほど、平均正答率が高いことが分かる。授業が「分かる」と回答した生徒と「ほとんど分からない」と回答した生徒の平均正答率の差は、国語が 27.6 (25.6)ポイント、社会が 24.6(27.0)ポイント、数学が 27.6(36.8)ポイント、理科が 29.2(23.7)ポイント、英語が 27.6(29.5)ポイントである。これらの結果から、「できない」「分からない」箇所があれば、繰り返しの指導だけでなく、授業の中で知識的な成就感を経験させ、分からなかったら調べる子供を育成する必要がある。誰もが「分かる授業」が「よい授業」ではない。学級の中の学力中位層の子供たちが、先生方の与えた課題で、達成感とやる気を得ることが大切である。

※下線は田中教授による指導・助言による。※()内は東京都の数値

② 取り組むべき内容を明確にした復習の徹底

本調査の結果から、「その日に受けた数学の授業の内容について、家に帰って何を学習すればよいか分かっているか」の質問に対して「分かる」と回答した生徒ほど、平均正答率が高い傾向にある。生徒への宿題等の課題を提示する際には、日々の授業との関連を十分考慮したものとする。

(2) 学校と家庭との連携を図った指導の充実

本調査および今までの調査結果から、基本的な生活習慣、身辺自立、規範意識、忍耐力、自尊感情、奉仕の精神、社会貢献に関する質問に対して「している(そう思う等)」と回答した生徒ほど、正答率が高い傾向にある。また、家庭での学習習慣が身に付いている生徒ほど平均正答率が高い傾向にある。

したがって、家庭との連携をより一層深め、生徒一人一人の基本的な生活習慣や学習習慣が確立できるよう指導していくことが大切である。例えば、家庭での学習習慣の確立を推進するためには、家庭での学習時刻や時間、テレビやゲームの利用の仕方等についてルールを決めるよう働きかけるとともに、日々の授業との関連を十分考慮した宿題等の課題を提示することが大切である。

(3) 青梅市基礎学力定着アドバイザー 田中 洋一 先生による指導・助言

<授業改善の方向性について>

どのような授業を行ったら、子供たちが知的好奇心をもてるのか考える必要がある。「子供たちが学習したい」という言葉だけではなく、「子供たちがちょっとした努力で気付けることができる」授業を繰り返すことで、子供たちの学習意欲が高まっていく。「ちょっとした努力」とは、「分かりやすい授業」ではなく、子供たちが考えて、自分たちで課題等を見つけることのできる学習過程を大切にする授業のことであり、「ちゃんと考えれば分かる課題」を授業者は与えなければならない。